

胃内視鏡検査説明書・同意書

【検査の目的・方法】

食道・胃・十二指腸の一部を内視鏡(胃カメラ)で観察し、病気の診断を行います。病変が疑われた場合、必要に応じ、生検(組織の一部を採取します)や色素撒布(色を付けて病変部を見つけやすくします)を行う場合があります。

【前処置について】

前処置で気分不良や呼吸困難などの症状がある場合は速やかに看護師にお申し出ください。

※前処置に関連する偶発症の発生頻度は0.0028%です。

日本消化器内視鏡学会「消化器内視鏡関連の偶発症に関する第6回全国調査報告2008年～2012年までの5年間」より

【検査後の症状について】

- ・ 検査後に咽頭痛が生じることがありますが数日で症状は治まります。
- ・ 経鼻内視鏡の場合は検査後に鼻出血が生じることがありますが、ほとんどの場合数分で出血は止まります。
- ・ ごくまれに消化管出血、穿孔などが生じることがあります。
- ・ その他、唾液や薬剤の誤嚥により遅れて肺炎を起こす、マウスピースを強く噛むことでぐらついている歯が折れたりかけたりするなどの報告があります。

上記のような偶発症が起きた時は適切な処置を行います。万一、医療機関での治療が必要と判断した場合は紹介状またはその他必要な手配を行います。

【生検について】

検査中にポリープ、潰瘍、ただれ等が発見された場合、悪性のものでないかを診断するため生検を勧める場合があります。生検結果は後日、郵送させていただきます。

生検は病変部の一部を採取してその組織を詳しく調べるものです。少量の出血を伴いますが通常すぐに自然止血します。しかし、まれに出血が持続し大量出血へ繋がる場合があります。

血液をサラサラにするお薬(抗血栓薬)を内服中の方については、当センターでは生検を行っていないため検査当日は観察のみとなります。生検が必要と医師が判断した場合は紹介状を発行いたします。

※生検は健診料金に含まれていないため、実施する場合は追加料金がかかります。保険診療適応(1臓器で3割負担で約4,000円)ですので当日は保険証の持参が必須です。当日持参されていない方は通常料金11,000円をお支払い頂きます。

私は、上記内容の説明に同意します。

年 月 日

受検者署名

なお、生検が必要と診断された場合には

() 同意します。 () 同意しません。

